



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 6 月 23 日

お米支援活動 現場レポート

株式会社ヤオコーでは 2020 年 9 月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス株式会社のご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始いたしました。2021 年 3 月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021 年 9 月より当財団で活動を引継ぎました。2023 年 3 月には公益財団法人へ移行し、これまで同様、毎月 1 回 埼玉県福祉部こども支援課を通じて、NPO 法人埼玉フードパントリーネットワーク、一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワークのご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーと子ども食堂へお米をお届けしております。※2024 年 5 月より、毎月 5 ㌔×200 袋(1 トン)をお届け

お米の支援		配布エリア	個数	㌔数	こども食堂	フードパントリー	配布団体の合計
44	2025年4月	さいたま市	200	1,000	25	10	35
45	2025年5月	三芳町	200	1,000	11	11	22
46	2025年6月	川口市	200	1,000	25	11	36

また、2025 年 5 月からはヤオコーと取引のある会社数社様から、賞味期限間近の商品を当財団が受け取り、より食品を必要とし、フードパントリー利用者の情報を把握されている埼玉フードパントリーネットワークへお届けする取り組みを始めました。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 4 月 さいたまエリア 200 袋 1,000kg



4 月のお米支援は、さいたま市にある さがみ典礼東浦和葬祭センターさんの駐車場をお借りして、荷下ろしいたしました。今回はお米以外にもヤオコーのサポートセンター備蓄品入れ替えがあり、水（2ℓ×6本×40ケース）とマジックライス（五目・わかめご飯 1,650 個）も一緒にお届けしました。水の入った箱は重く、荷下ろしも大変でしたが、ボランティアの皆さんの慣れた手つきでご協力をいただき、無事荷下ろしできました。ありがとうございました。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 5 月 三芳町エリア 200 袋 1,000kg



5 月のお米支援は、三芳町にある上板塑性株式会社様の駐車場をお借りし、荷下ろしいたしました。今回は、お米以外にもアサヒ飲料様からカルピス（ヤオコー店舗で実施した子ども応援キャンペーンの売上の一部を寄付）の寄付もあり、アサヒ飲料のスタッフの方々が営業車で運んでくださいました。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 6 月 川口エリア 200 袋 1,000kg



6 月のお米支援は、川口市にある さがみ典礼川口駅前葬祭センターさんの
駐車場をお借りして、荷下ろしをいたしました。気温 32℃と猛暑でしたが、多く
のボランティアさんが集まり、手際よく荷捌きしていきました。お米支援では、アル
ファクラブ武蔵野(株)様のご厚意で、いくつかの荷下ろし拠点として駐車場をお
借りしています。お米を荷下ろししている際、「お米の袋が丈夫で破れないから
扱いやすい」とのお話があり、いろいろな寄付品を荷捌きされているボランティア
さんならではの言葉でした。